OpenStack Cinder Equallogic Demo

Equallogic 領域の使い方①

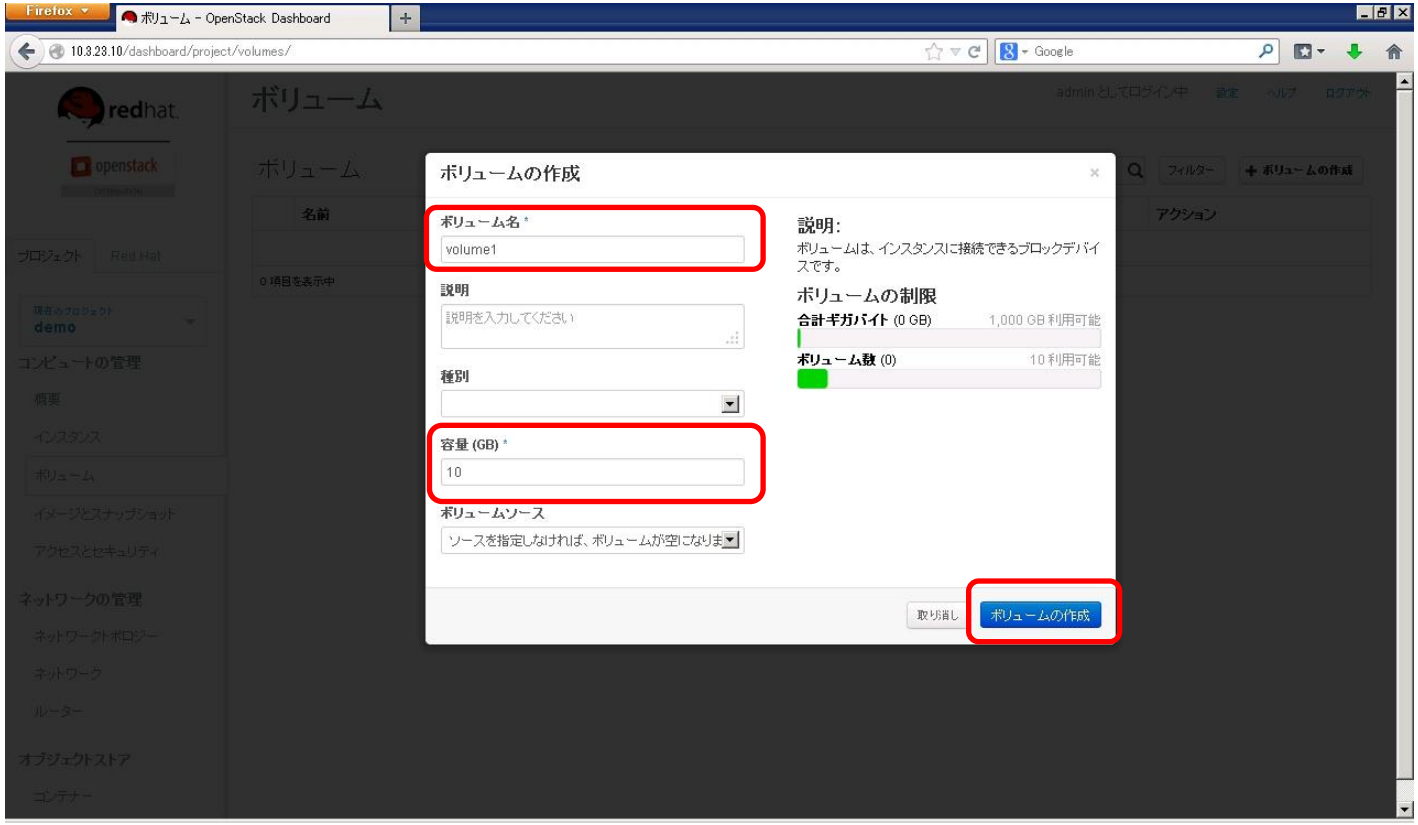
既存の仮想マシンにアタッチして使用

Cinder Volumeの作成 1

ボリュームの項目からボリュームの作成をクリック

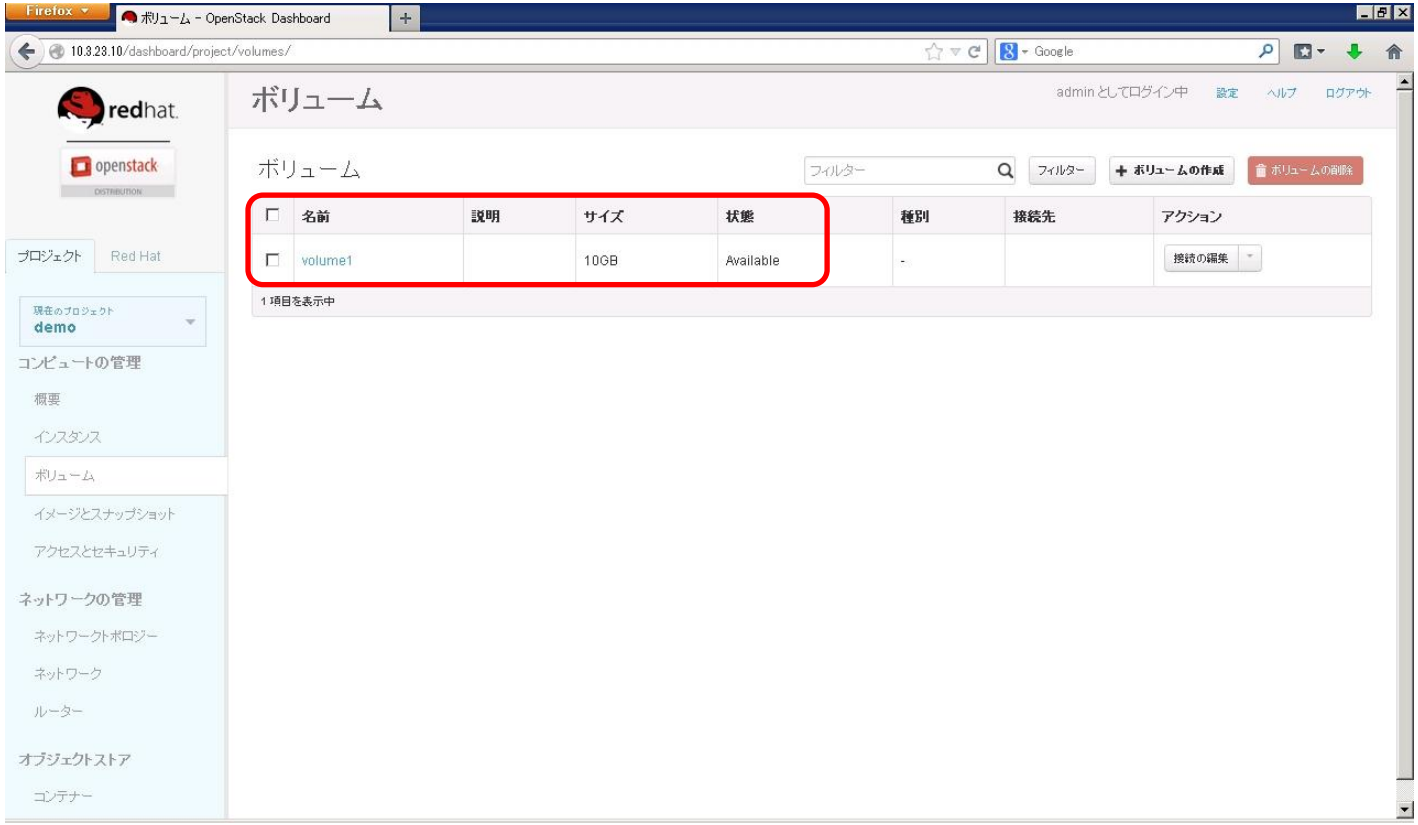
Cinder Volumeの作成 2

ボリューム名、容量を指定してボリュームの作成を選択



Cinder Volumeの作成 3

ボリュームが正常に作成されたことを確認

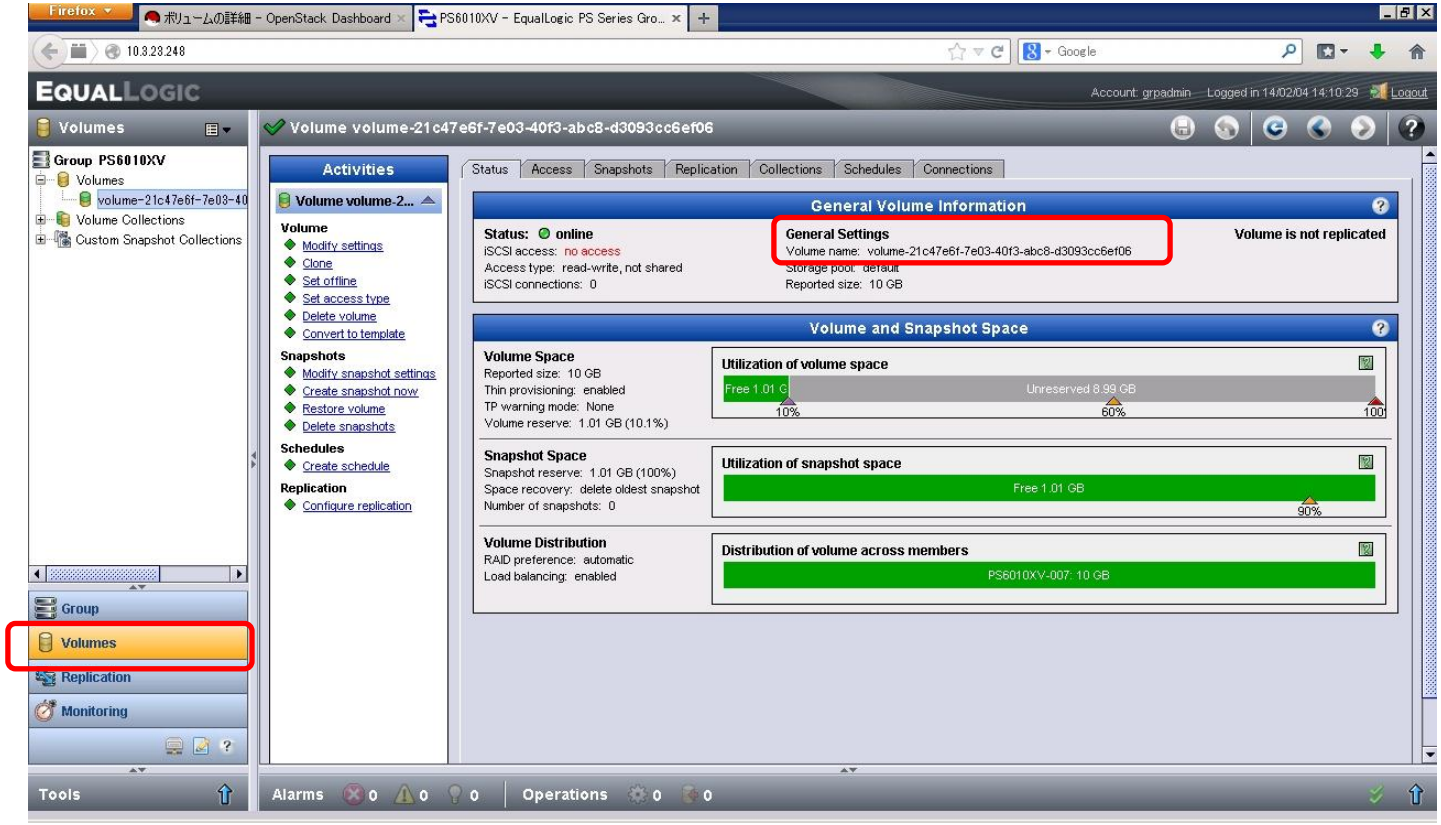


Cinder Volumeの作成 4

ボリュームをクリックしたボリュームのIDを確認
このIDでEquallogic側にボリュームが作成されます

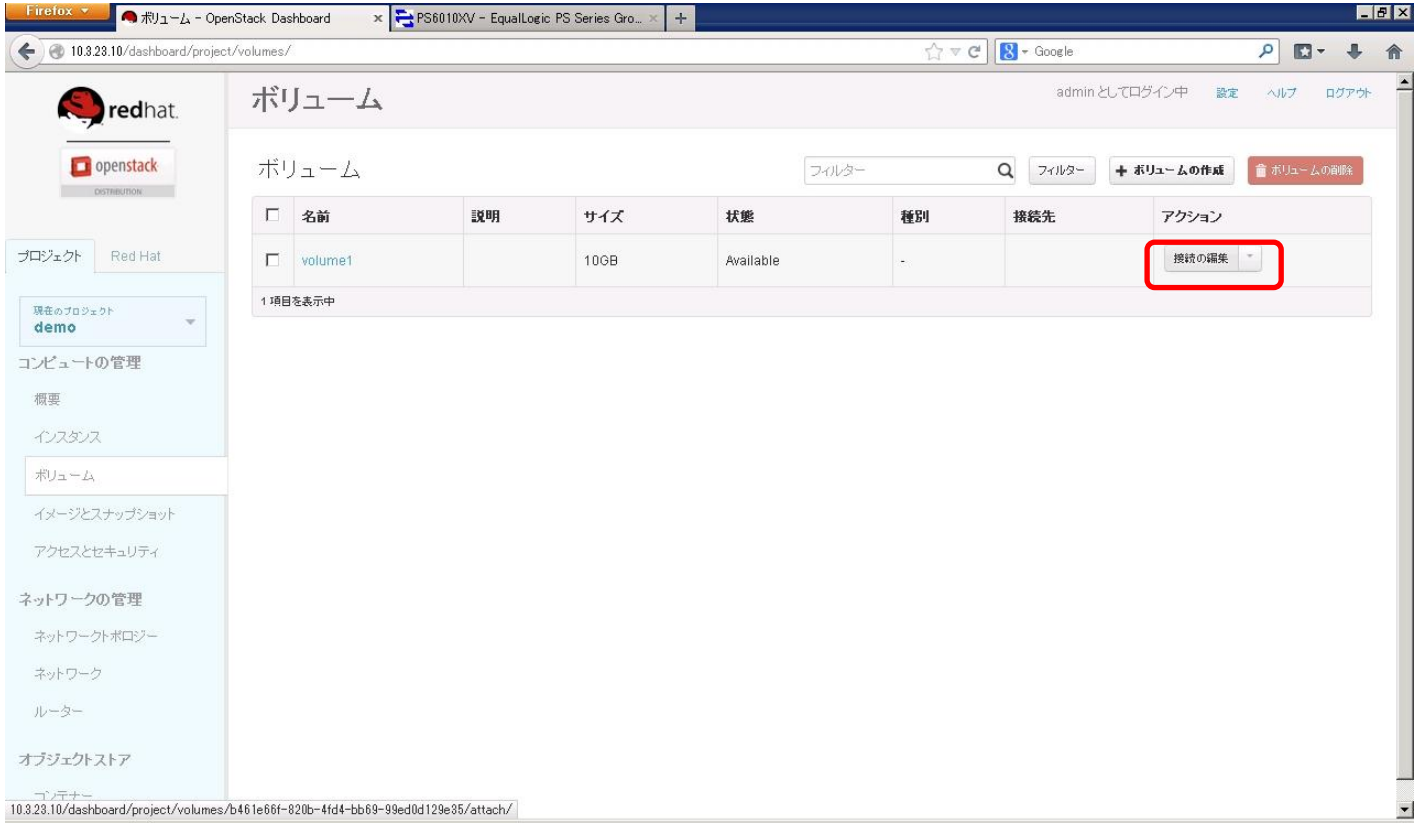
Cinder Volumeの作成 5

EquallogicのGroup Managerでボリュームがあることを確認
Volumesに作成したIDのボリュームがあることを確認



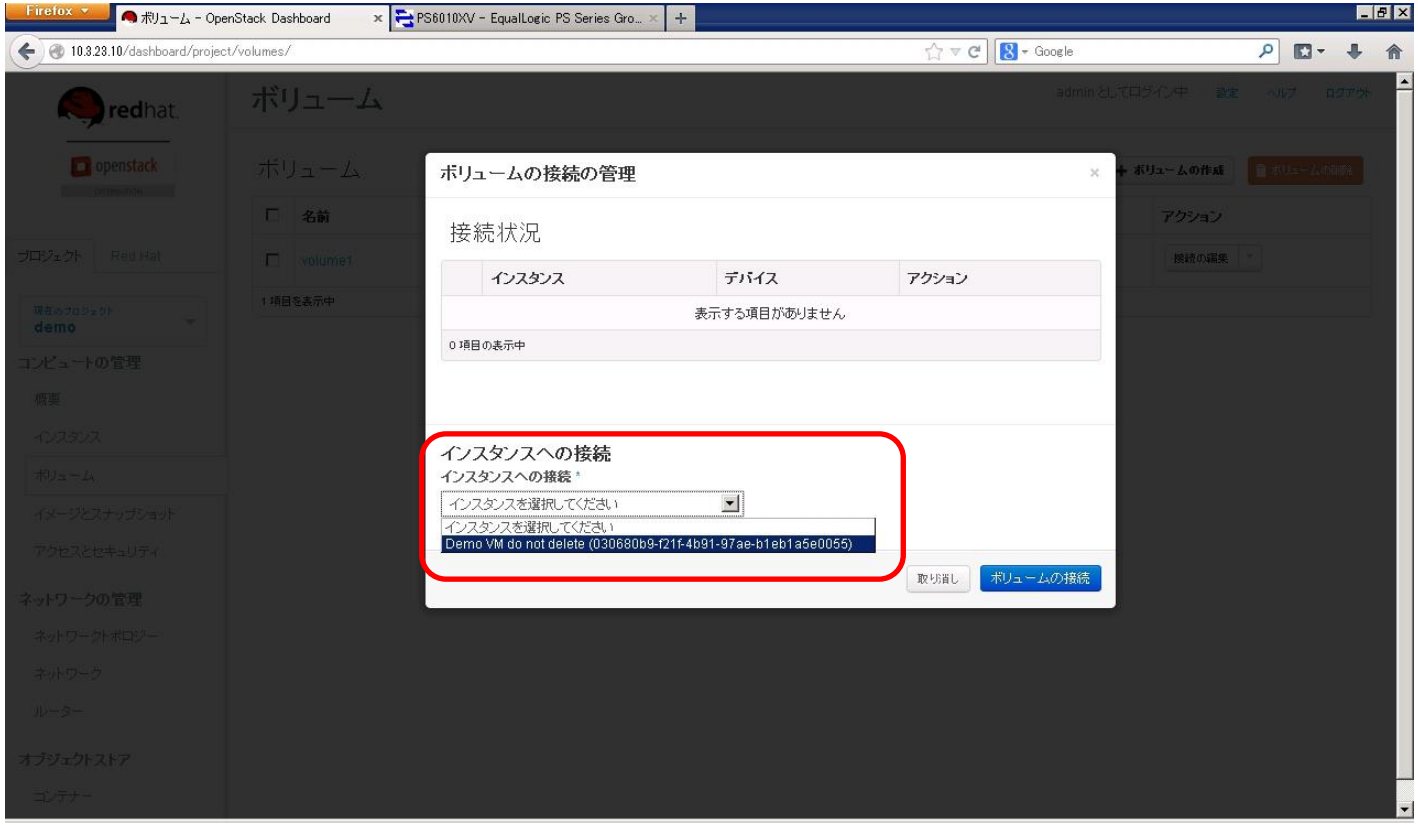
既存の仮想マシンに接続 1

作成したVolumeのアクションで“接続の編集”を選択



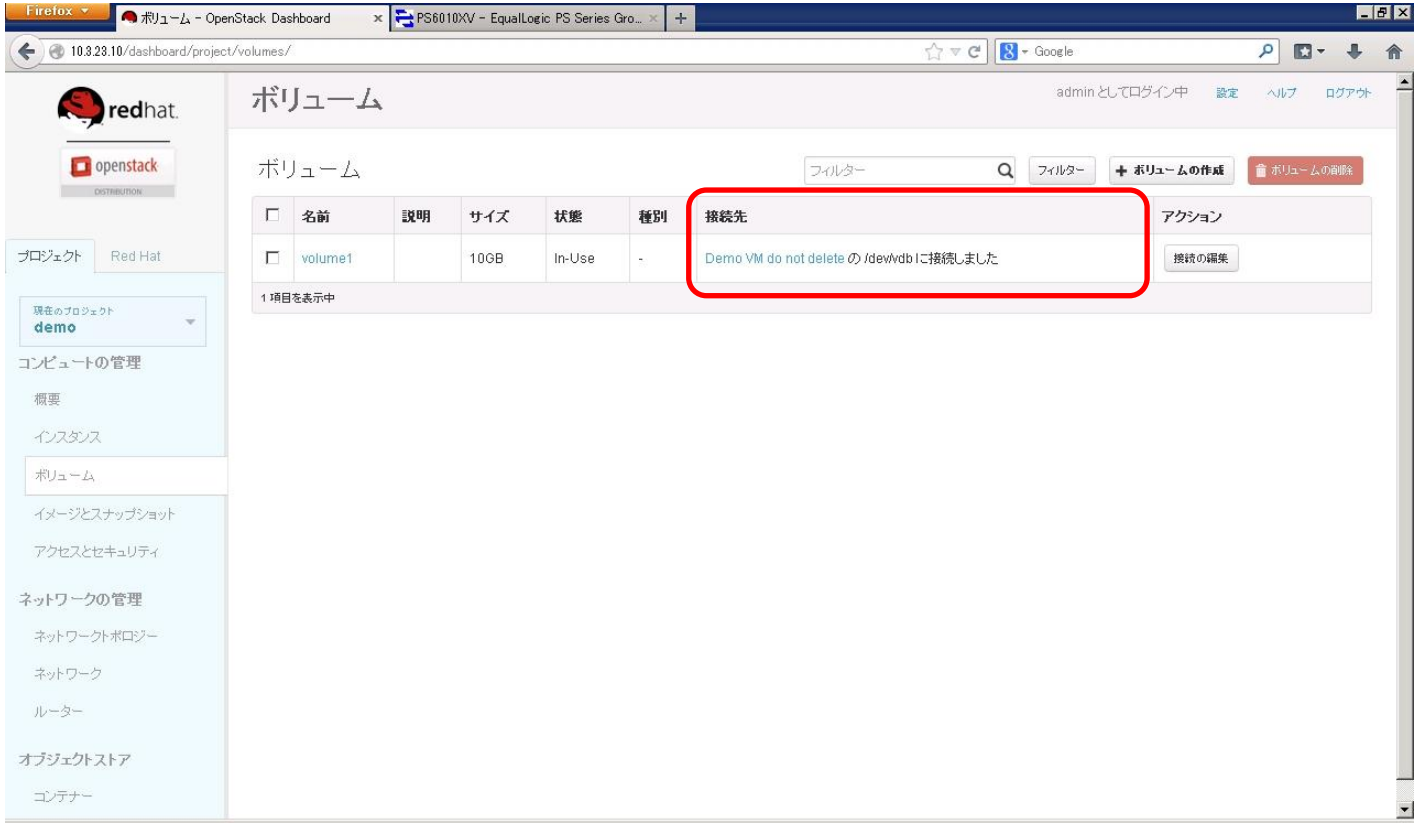
既存の仮想マシンに接続 2

接続するインスタンス(仮想マシン)を選択して、“ボリュームの接続”



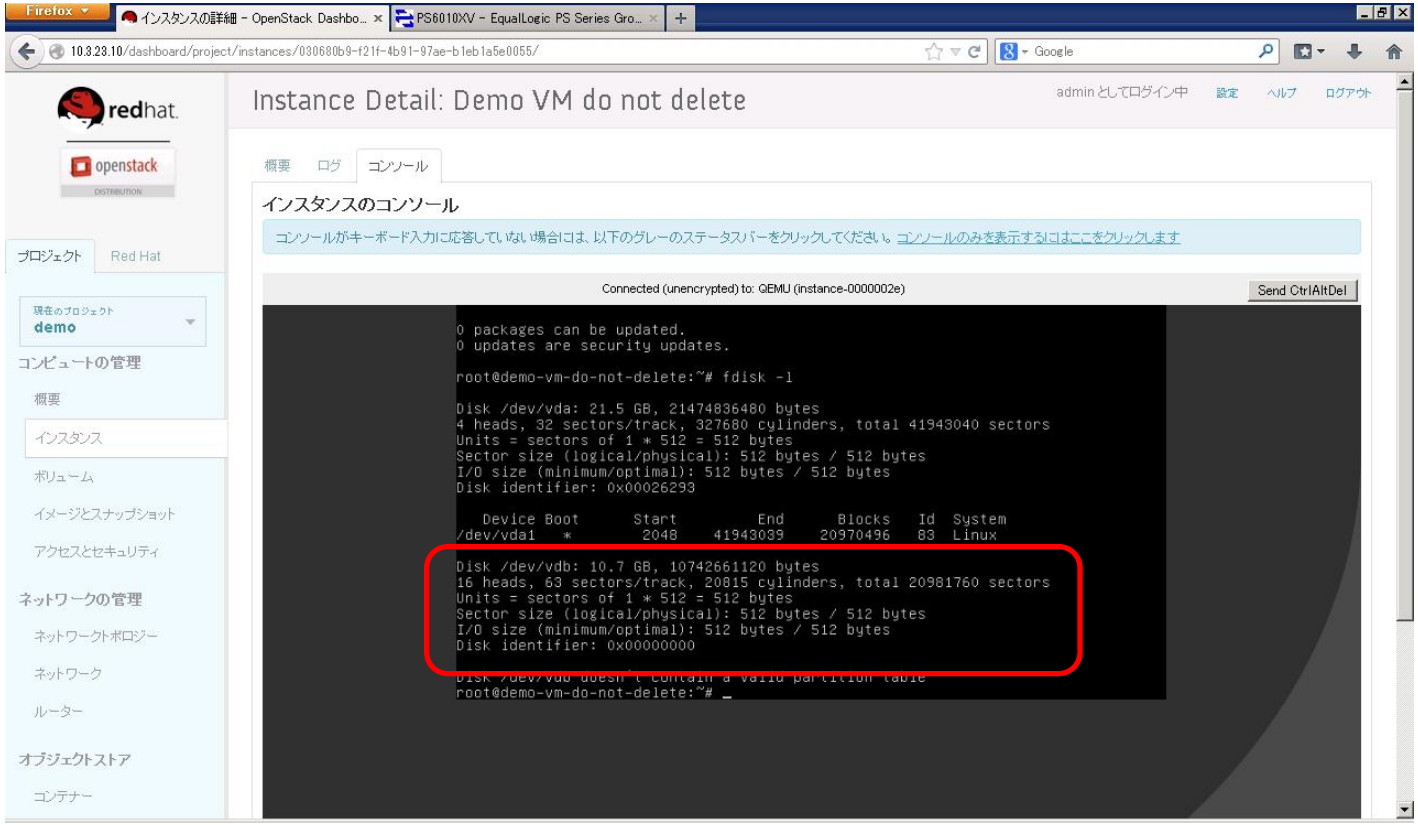
既存の仮想マシンに接続 3

ボリュームの接続先にインスタンス名、デバイス名が表示される



既存の仮想マシンに接続 4

接続した仮想マシンからブロックデバイスとして認識していることを確認。
Demo VMのコンソールでログインし“fdisk –l”で確認



Equallogic領域の使い方②

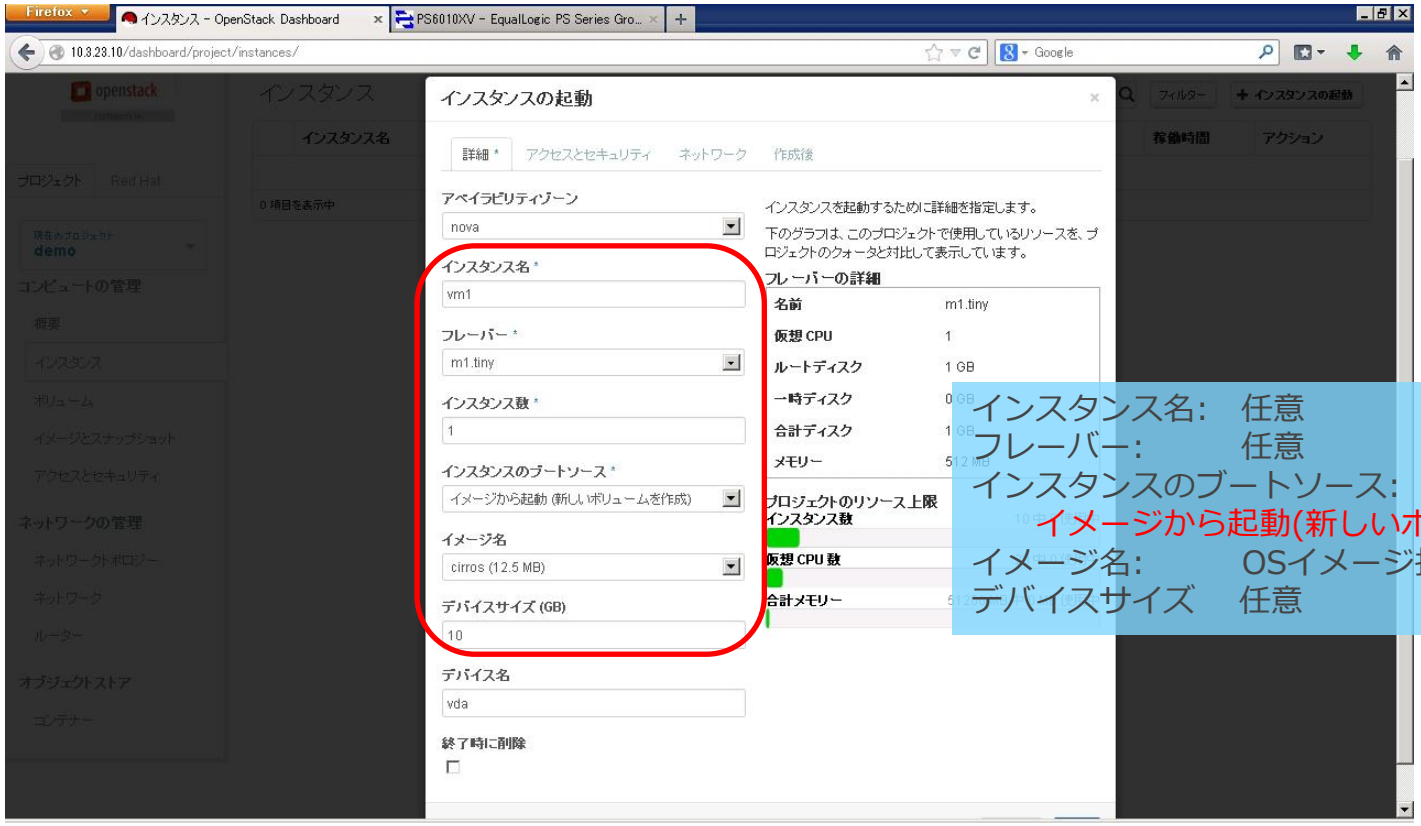
仮想マシンのルートファイルシステムとして使用

仮想マシンの作成 1

仮想マシンのルートボリュームとしてボリュームを作成する
インスタンス項目からインスタンスの起動を選択

仮想マシンの作成 2

インスタンス名、フレーバー、インスタンスのブートソース、イメージ名、デバイスサイズを指定

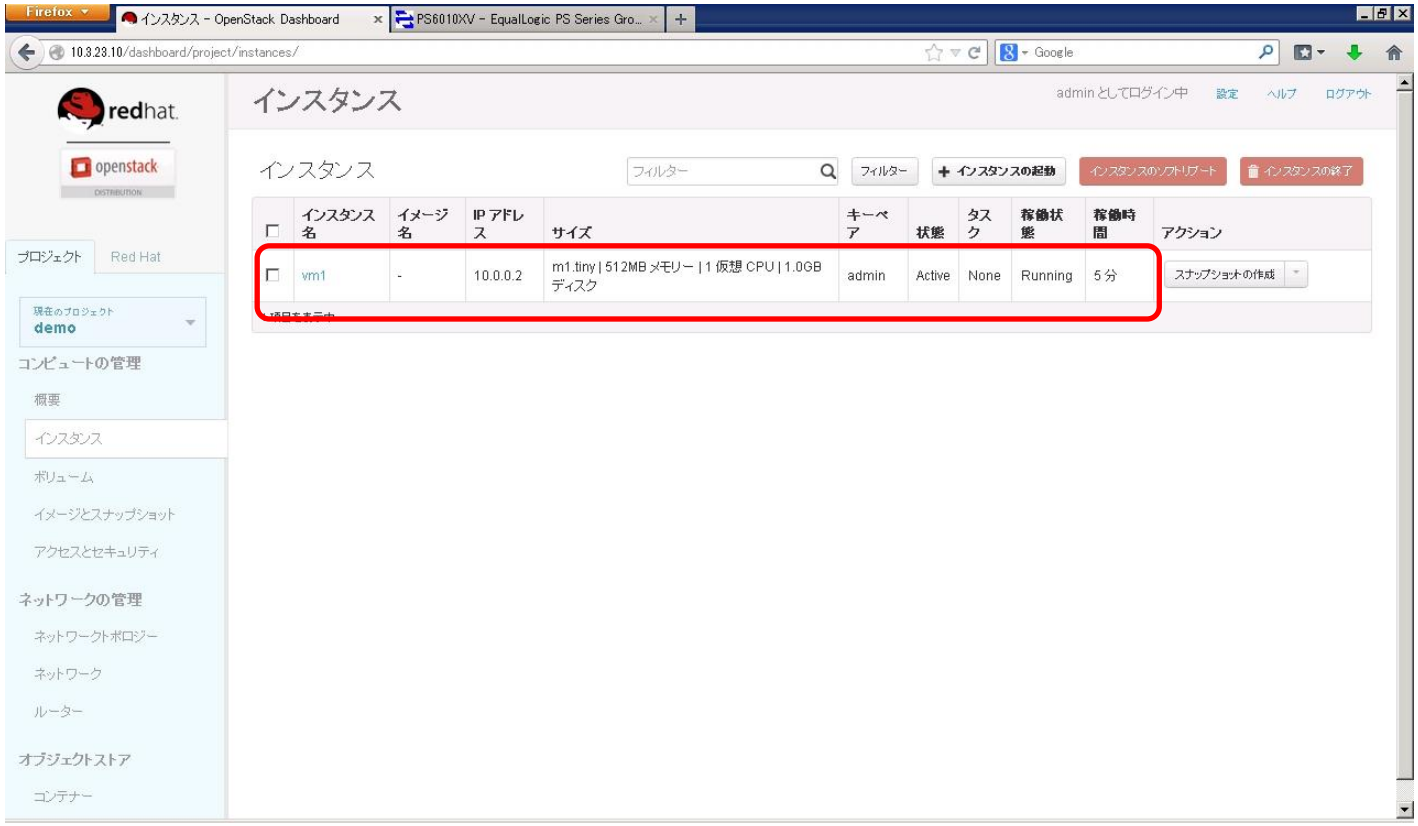


仮想マシンの作成 3

ネットワークタブで接続済みネットワーク選択し、起動

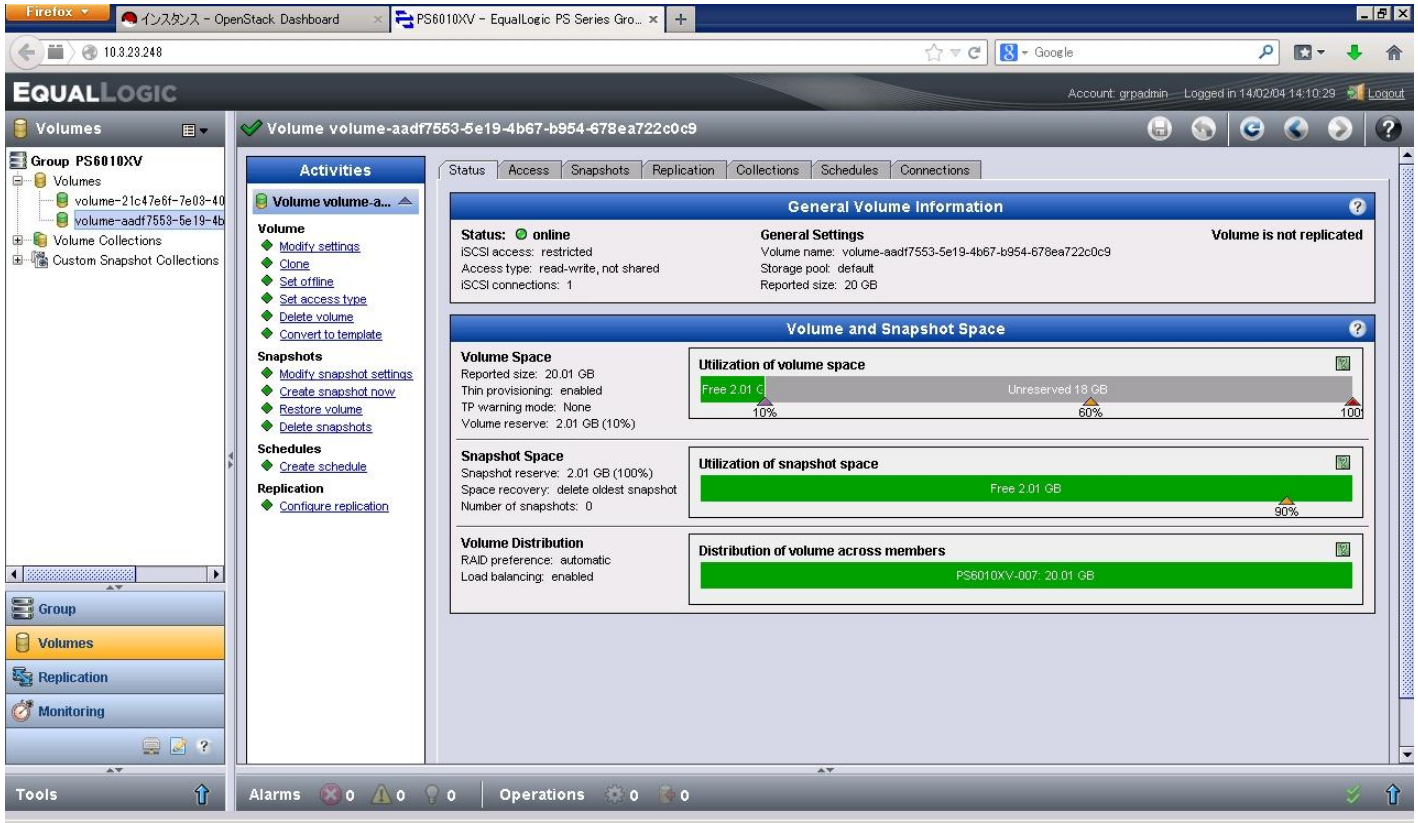
仮想マシンの作成 4

インスタンスが作成され、少し待つと状態がActiveになります



仮想マシンの作成 5

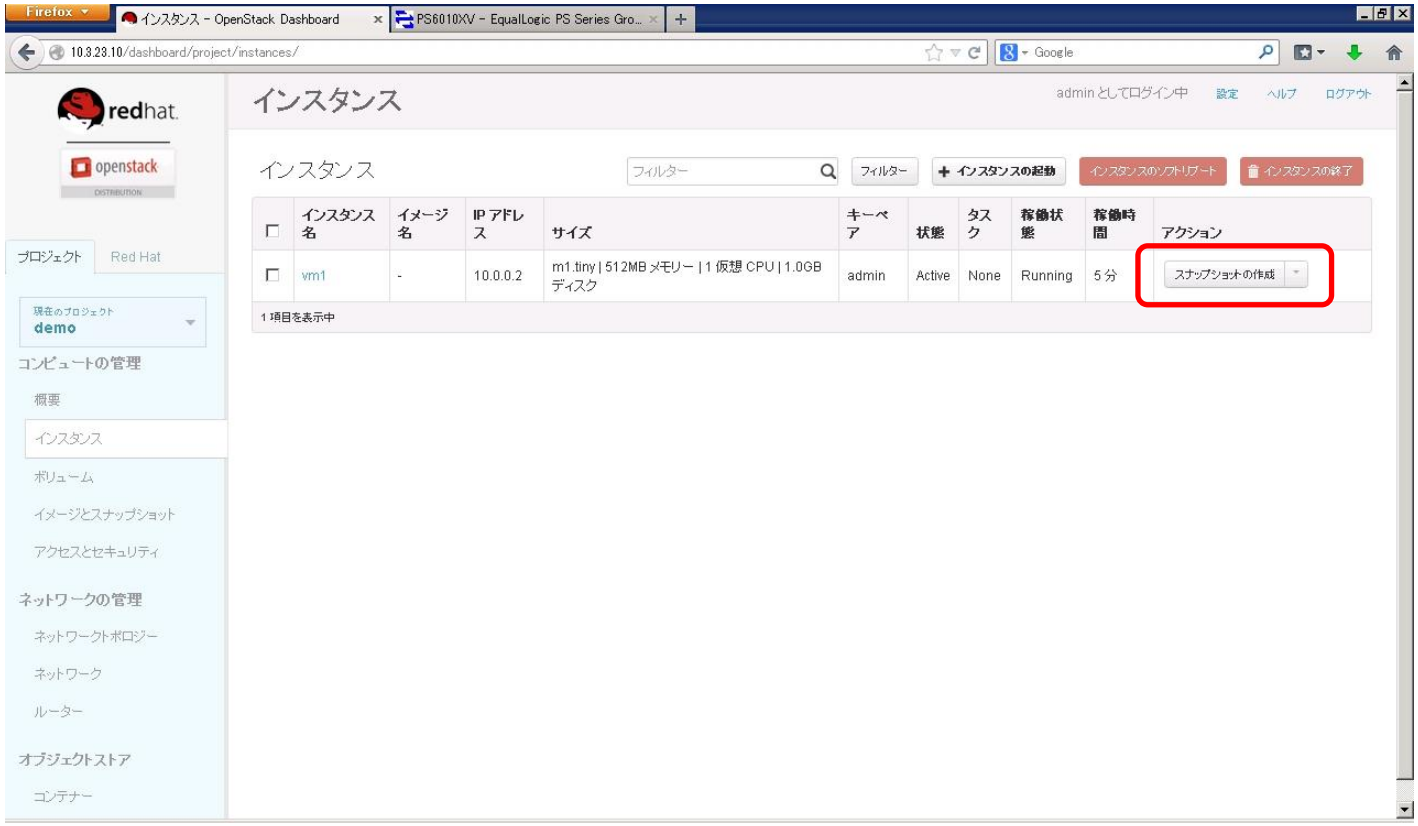
Equallogic側に指定した容量のボリュームが作成されていることを確認



スナップショット作成方法

スナップショットの作成 1

インスタンスのスナップショットを作成します
インスタンスからスナップショットの作成を選択



スナップショットの作成 2

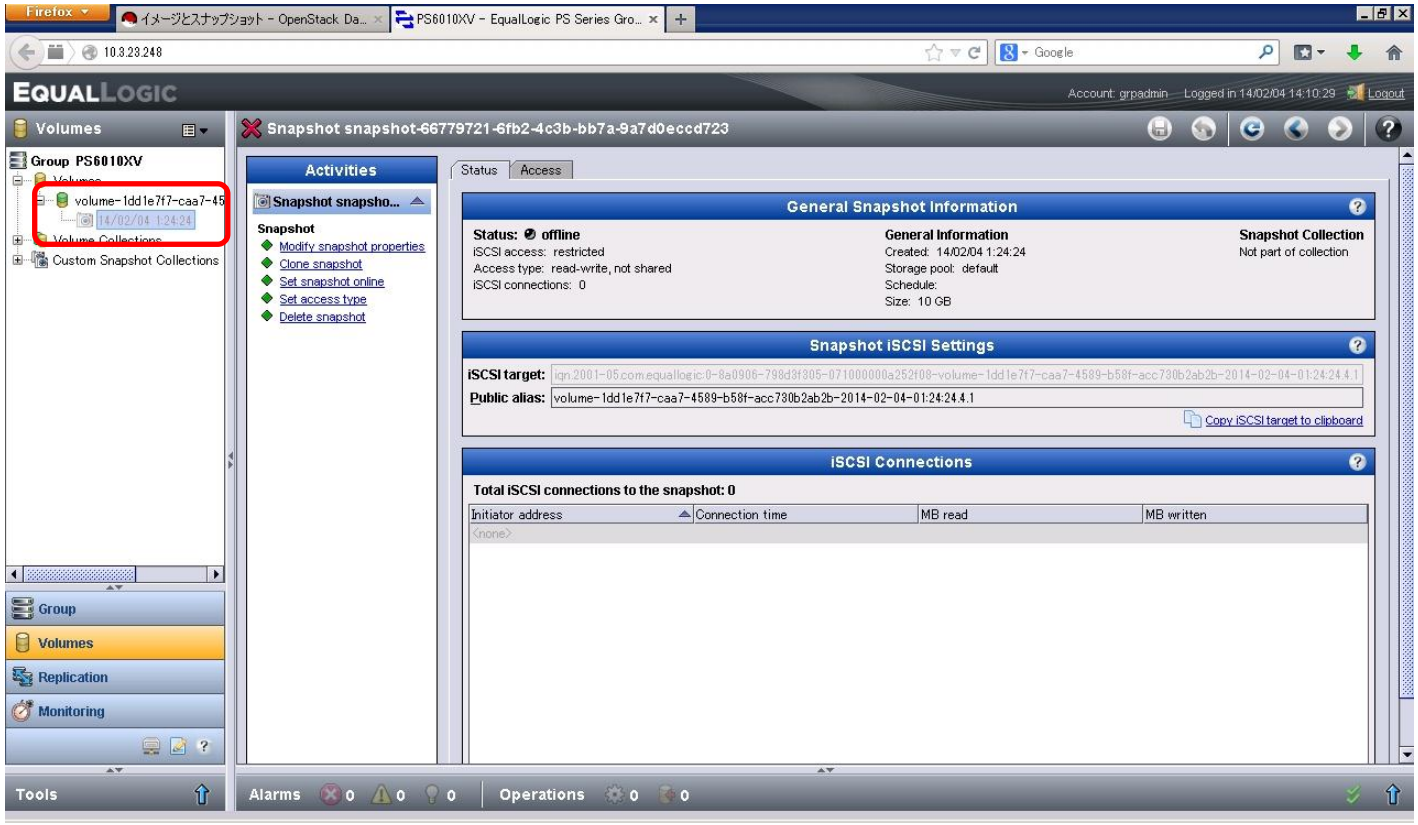
スナップショット名を指定してスナップショットの作成を選択

スナップショットの作成 3

スナップショットが作成され、イメージに登録されます

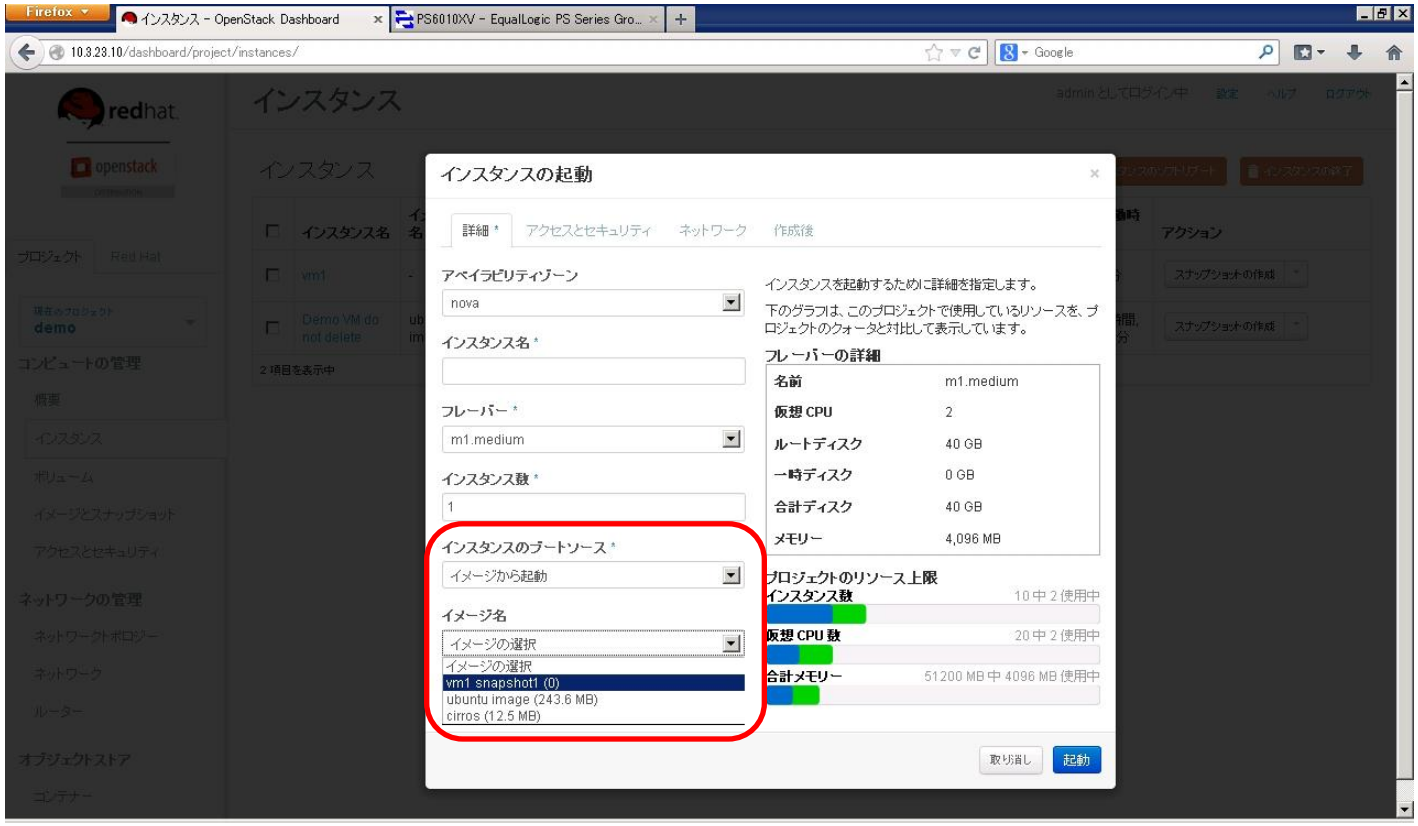
スナップショットの作成 4

Equallogic側にスナップショットが作成されます



スナップショットの作成 5

スナップショットへは直接アクセスできません。
使用する場合はボリュームのスナップショットからボリュームを作成し使用します

スナップショットの作成 6

作成したスナップショットから新しいインスタンスを作成することもできます
イメージから起動を選択すると作成したスナップショットが選択できます